

第 75 号		
発行日 2025.11.14		

J R 東労組バス関東本部

年末手当アンケート実施中

2025 年末手当満額回答！ 組織強化・拡大！！

申 4 号 2025 年度年末手当等に関する申し入れ

第 2 回団体交渉開催！

本日 15 時より本社会議室において、申 4 号について議論を行ってきました。

冒頭、会社側から 2025 年度下半期の経営計画について、ガソリンの暫定税率廃止などによる動力費見直しなどにより一部修正を行なったこと。上半期の増収と課題等を踏まえて通期の目標を上方修正し、特に EBITDA の目標値を 16 億 7,400 万円に設定し、この達成を目指すことが説明されました。

上半期決算は、大阪万博輸送が好調だったこと、アライアンスの施設利用料がえたこと。燃料油価格定額引下げ措置により動力費が下がったが、課題としてクレジットカード不正利用が足を引っ張っている事などをあげ、営業損益では計画を 3,100 万円下回ったと述べられました。

※EBITDA（イービットディーイー）とは・・・

「営業損益＋減価償却費」で計算され、事業運営により生み出すことができたお金（キャッシュ）を示しています。2024 年度より JR 東日本グループでは「EBITDA」により収支を管理しており、長期的な戦略に基づいて必要な設備投資を行いつつ成長することを表す指標として、営業損益とともに達成すべき重要な目標です。

上期に 1 億 6,400 万円の黒字を達成したことに対して、組合員社員の期待が高まっている事。日々の労働実感は高まっているし、組合員の様々な努力により業績を積み上げている事。物価高騰が続き生活が苦しくなっており、外食が多くなってしまう状況の中で働けば働くほど食費が嵩んでしまう現実などを主張しました。

J R 東日本のトップメッセージとして『四方良し』の経営という言葉がある。事業活動によって得た利益を、お客さまや地域の皆さま、株主や投資家の皆さま、加えて忘れてはならないことはグループ社員とその家族の幸福実現のために還元する。とあることをあげ、しっかりと我々に還元すべきであり、満額回答、を求めてきました。

会社側は経営陣に伝え、要望に応えられるように検討していくが、中長期的な観点に加え、現在居る社員が納得して残ってもらえる還元も大事である。そういうのを勘案して回答する。と述べた。 ※議事録等、詳しい内容は組合員の皆さんに別途お知らせします。

J R バス 関東で働く仲間を一つに！